

研究課題名	<p>大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対するステントグラフト留置後血栓性閉塞に対する治療法に関する多施設・後向き研究</p> <p>Clinical outcome after various treatments for thrombosis of Viabahn stentgraft in femoropopliteal arterial lesions (CUCUMBER registry)-Retrospective multicenter registry-</p>	
研究の意義・目的	<p>現在、大腿膝窩動脈（FPA: femoro-popliteal artery）病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症（PAD: peripheral artery disease）に対する血行再建術としてバルーン単独による拡張術、ナイチノールステント留置、薬剤溶出ステント、薬剤コーティングバルーンなど選択肢は多岐にわたりますが、長区域の病変に対するVIABAHNステントグラフト留置の良好な成績が報告されています。しかし、VIABAHN留置後の問題として、エッジ狭窄に続発する血栓閉塞があり、急性下肢虚血を発症する頻度も他の治療オプションに比べ高いとされています。本研究の目的はVIABAHN血栓閉塞の症例を後ろ向きに集積し、血栓閉塞時の臨床症状、血栓閉塞に対する治療方法、その後の臨床経過を明らかにすることです。本研究を実施することにより、VIABAHN留置後血栓症の臨床経過、再治療成績およびその成績に関連する因子の詳細が明らかとなり、本研究で得られた知見は、今後のPAD診療に大いに役立つものと考えています。</p>	
研究を行う期間	承認日 ~ 西暦 2020 年 12 月 31 日	
研究協力をお願いしたい方（対象者）	FPA病変を有する症候性PADに対して、2016年12月～2019年12月までにVIABAHNが留置され、血栓閉塞した症例が対象になります。	
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、内服薬、術後経過】</p>	
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関奈良県立医科大学放射線・核医学科に頂いた情報を提供します。	
この研究を行っている共同研究機関	相原英明	筑波メディカルセンター 循環器内科
	荒木 浩	うわまち病院 循環器内科
	安齋 均	太田記念病院 循環器内科
	飯田 修	関西労災病院 循環器内科
	猪狩公宏	東京医科歯科大学 血管外科
	市橋成夫	奈良県立医科大学 放射線・核医学科
	岩田 曜	船橋医療センター 循環器内科
	内山英俊	土浦協同病院 血管外科
	宇都宮誠	東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科
	梅本朋幸	東京医科歯科大学病院 循環器内科
	遠藤雅之	鳥取大学 放射線科
	緒方健二	宮崎市郡医師会病院 循環器内科
	尾崎 大	順天堂浦安病院 循環器内科
	尾崎俊介	板橋中央総合病院 循環器内科
	加藤 拓	洛和会音羽病院 循環器内科

加畑 充	荻窪病院 循環器内科
川崎大三	森之宮病院 循環器内科
木戸岳彦	昭和大学横浜市北部病院
小出正洋	第二岡本病院 循環器内科
上月 周	済生会中津病院 循環器内科
児玉隆秀	虎の門病院 循環器内科
小林 平	JA 広島総合病院 心臓血管外科
篠崎法彦	東海大学病院 循環器内科
重城健太郎	東京女子医科大学東医療センター
習田 龍	大阪労災病院 循環器内科
新垣正美	市立函館病院 心臓血管外科
新谷嘉章	上尾中央総合 循環器内科
末松延裕	福岡県済生会福岡総合病院 循環器内科
鈴木健之	東京都済生会中央病院 循環器内科
墨 誠	埼玉県立循環器・呼吸器病センター 血管外科
関 秀一	近森病院 循環器内科
全 完	京都府立医科大学 循環器内科
寒川悦次	大阪市立大学 放射線科
曾我義光	小倉記念病院 循環器内科
高橋保裕	同愛記念病院 循環器内科
滝村秀幸	総合東京病院 循環器内科
田崎淳一	京都大学 循環器内科
玉井宏明	春日井市民病院 血管外科
辻田裕昭	昭和大学病院 循環器内科
樺本恵則	京都第二赤十字病院 循環器内科
土井尻達樹	大和成和病院 循環器内科
登坂 淳	タウン訪問診療所
飛田一樹	湘南鎌倉総合病院 循環器内科
戸谷直樹	東京慈恵会医科大学附属柏病院 血管外科
中尾 優	東京女子医科大学 循環器内科
仲間達也	東京ベイ浦安市川医療センター 循環器内科
中村浩彰	加古川中央市民病院 循環器内科
三浦 崇	信州大学医学部 循環器内科学
服部 努	相模原協同病院 心臓血管外科
早川直樹	国保旭中央病院 循環器内科
坂野比呂志	名古屋大学 血管外科
東浦 涉	沖縄中部病院 放射線科
東谷迪昭	東京医科大学茨城医療センター 循環器内科
樋上裕起	大津赤十字病院 循環器内科
菱刈景一	横須賀共済病院 循環器内科
平野敬典	済生会横浜市東部病院 循環器内科
藤原昌彦	岸和田徳洲会病院 循環器内科
古山 正	九州大学 第二外科
朴澤耕治	新東京病院 循環器内科

	<p>星本剛一 横浜総合病院 循環器内科</p> <p>堀江和紀 仙台厚生病院 循環器内科</p> <p>前田剛志 東京慈恵会医科大学 血管外科</p> <p>松井朗裕 春日部中央総合病院 循環器内科</p> <p>松野俊介 心臓血管研究所付属病院 循環器内科</p> <p>松原健太郎 慶應義塾大学外科</p> <p>宮崎亮一 武蔵野赤十字病院 循環器内科</p> <p>村田直隆 東京医科大学病院 循環器内科</p> <p>矢野英人 行徳総合病院 循環器内科</p> <p>山内靖隆 総合高津中央病院 循環器内科</p> <p>山口雅人 神戸大学 放射線診断・IVR科</p> <p>山岡輝年 松山赤十字病院 心臓血管外科</p>
試料・情報を管理する責任者	<p>代表研究機関の名称 奈良県立医科大学</p> <p>所属 放射線・核医学科</p> <p>主任研究者 市橋成夫</p>
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	<p>下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪市立大学医学部附属病院 放射線診断学・IVR学</p> <p>545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3</p> <p>TEL 06-6645-3831</p> <p>FAX 06-6646-6655</p> <p>Email radiology@med.osaka-cu.ac.jp</p> <p>担当者 寒川悦次</p>